

# 職員研修報告

研修報告など職員のスキルアップに関する内容を紹介します。

「重症心身障害児者の支援の基本と実践」というテーマで、『重症心身障害児者の食事支援』～楽しい食事のために～というオンライン研修を受講しました。ビスケットやヨーグルトを用いて体験をしましたが、摂食介助の方法だけでなく、食事の楽しさを感じられるための環境設定や準備、食べる利用者様の気持ちに寄り添うことの大切さを改めて実感しました。コロナ禍により状況は変化していますが、このような状況でも学べることに感謝を忘れず、日々の支援に活かしていきたいと思います。

生活介護事業 生活支援員 青山和之



東京都障害者虐待防止・権利擁護研修にオンラインで参加した職員を講師として、全職員を対象に3回に分けて伝達講習を行いました。虐待防止チェックリストを用いて自らの言動を振り返り、「虐待」について改めて考える非常に良い機会となりました。常に「障害者虐待防止・権利擁護」の意識を高く持ち支援の質の向上を目指すとともに、風通しの良い組織を作るためにも、今後も学びを深め、利用者の皆様が安心して通所できる環境の維持・発展に引き続き取り組んでまいります。

中途障害者通所事業 係長 中野一



新しいロゴマークができました！



あんさんぶるのロゴマークは、地域活動支援センターの利用者様と職員と一緒にデザインしました。

このロゴマークには、

「ずっと雨の日ばかりではない、いつかは晴れる」「晴れたら虹がかかる。皆さんに心の虹を届けたい」という想いと、タイトルのあんさんぶるには、「仲間と絆を結び、みんなで素敵なメロディを紡ぎ出そう」というメッセージが込められています。

## 編集後記

あんさんぶる創刊号はいかがでしたでしょうか？令和2年度から生活介護事業が加わり新体制となって1年が過ぎました。まだまだ発展途上ですが、これからも職員一同日々研鑽を重ねてまいりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願ひいたします。またこのような状況ではありますが、利用者様が安心・安全に活動・訓練に参加できるよう、知恵を絞り工夫を重ねて支援に取り組んでまいります。今後も様々な取り組みや活動などを紹介し、より読みやすく、分かりやすい紙面を目指していきたいと思います。今後とも「あんさんぶる」をどうぞよろしくお願ひいたします。



## あいさつ ご挨拶

中村橋福祉ケアセンターの新しい広報紙「あんさんぶる」を創刊いたします。

これまで、練馬区中途障害者通所事業だんだんの広報紙として「だんだんだより」をお届けしてまいりましたが、令和2年度から同じ中村橋区民センター内にある生活介護事業も社会福祉法人東京援護協会が一体運営することになり、広報紙もリニューアルしました。新型コロナウィルス感染症によって人々の生活は一変してしまいました。そんな日常の中でも、地域で実りある豊かな生活を送れるように活動を提供していきたいと考えています。こうした取り組みなどを紙面で紹介してまいります。今後の「あんさんぶる」にどうぞご期待ください。

中村橋福祉ケアセンター サービス管理責任者 謙訪間 英男

## かつどうほうこく 活動報告

各事業の様々な取り組みや活動などを紹介します。

### 「中途障害者通所事業 卓球練習会」

昨年度から東京都障害者スポーツセンターや地域のボランティアの方々にご協力いただき、卓球練習会を開催しています。参加者は初めてラケットを握る方から大会を目指す方まで様々ですが、それぞれが自身に挑戦しながら卓球を楽しんでいます。今年度は制限された中での開催となりましたが、利用者様からは「また卓球ができることが嬉しい」と笑顔が溢れていました。



### 「地域活動支援センターⅢ型 秋の作品展覧会」

本展覧会は、新型コロナウイルス感染対策として様々な活動が制限または変更となり、一人ひとりで行う活動が増えたことが開催のきっかけでした。「個々のちからを大きく表現できないか！」、「このような状況でも目標を持てるものを！」、「会話が少なくて一体感を！」など、地活オリジナルの展覧会開催に向けて作品づくりが始まると、自然と利用者様の笑顔も増え、「ひとりでは微力でも集まれば大きな力になる」ことを伝えることができたのではないかと思っています。

